

播但連絡道路の大規模修繕等に関する有識者会議（第1回会議）

議事概要

1. 日時 令和元年9月17日（火）15:00～17:00
2. 場所 兵庫県民会館 7階 鶴
3. 出席者

[委員]（◎は会長）

小池 淳司 こいけ あつし	神戸大学大学院工学研究科 教授
◎佐竹 隆幸 さたけ たかゆき	関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授
佐藤 久美子 さとう くみこ	特定非営利活動法人 Lazo 代表
森川 英典 もりかわ ひでのり	神戸大学大学院工学研究科 教授

[アドバイザー]

磯部 良太 いそべ りょうた	国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所長
松本 崇 まつもと たかし	西日本高速道路株式会社 関西支社 総務企画部 企画調整課長

※敬称略、五十音順

4. 議事 (1) 有識者会議の設立について
(2) 検討スケジュール等について
(3) 播但連絡道路の大規模修繕等について

5. 議事概要

〈委員等からの主な意見〉

1 播但連絡道路の概要と現状

- ・ 播但道の大規模修繕等の必要性が利用者に認知されていないのではないか。広く周知する必要がある。
- ・ 利用者は劣化を理解していない。播但道の現状を知ってもらうことが重要である。

2 将来にわたって健全な状態で管理していくための課題

(1) 大規模修繕・橋梁耐震の必要性とあり方

- ・ 償還期間を迎え無料化すると、特に大型車交通量が激増し、損傷劣化が加速的に進行する。姫路バイパスがその例であり、おそらく播但連絡道路でもそのようになるだろう。
- ・ 維持管理計画を立てて、予防的に管理していけば維持修繕費はかなり抑えられる。予防的な考え方で維持管理をしていかなければまた同じことの繰り返しになる。
- ・ 制度や整備した時期によって有料と無料の道路が、同じような地方部に混在している。有料道路事業で整備したから有料だという説明が、いつまでも通じないのではないか。
- ・ 将来的に県内の高速道路網をどのような料金体系で、維持管理費をどう調達していくのかという問題を考える必要がある。その中で播但連絡道路の現実的な解決策を考えなければならない。
- ・ 阪神淡路大震災や笹子トンネルの天井板崩落事故があったが、安全に走行出来るためにはある程度の料金を支払うことは仕方がないと考える。移動手段に高速道路を利用するのは、早く目的地に着きたいという時間短縮と安心を買っている。
- ・ 国が9月10日に「高速道路における安全・安心基本計画」を定めており、維持管理・更新に係る負担のあり方についても一部触れているところがあり、課題となっている。無料化されると考えている利用者にとってどう理解してもらうのか、しっかり検討していく必要がある。

(2) 財源確保の必要性

- ・ 大規模修繕や耐震補強などの対策に備えて、資金をストックしておくことも必要ではないか。
- ・ 収入を増やすためには、料金を値上げするのか、料金徴収期間を延ばすのかの二つしかない。支出を減らすには維持管理費を削減するしかないが、現状を踏まえそのようなことが可能なのか検証する必要がある。
- ・ 利便性を維持していくためには有料化を継続せざるを得ないのではないか。
- ・ 一番重要なのは安全・安心である。それを考えると、ある程度の利用者の負担はやむを得ないのではないか。ただ、引き続き有料とするのであれば、根拠が必要である。